

高島市長

福井正明様

独自目標監査報告書

平成31年1月17日

主任監査員 森山美栄子

副主任監査員 寺本 マコ

1. 監査日

平成30年11月1日(水)

2. 監査対象

高島市

3. TES 監査内容

独自目標(平成29年度実績)監査

- ① エコアクション(環境活動)部門 第1ステージ
- ② エコマネジメント(環境経営)部門 第1ステージ
- ③ エコガバナンス(環境自治)部門 第1ステージ

4. 監査結果

TES 項目評価 ①A109 : × ②B109 : ○ ③C105 : ○

項目別達成状況				TES 項目別評価	
項目番号	内容	目標値	達成状況※1	部門(項目番号)	評価※2
a101	電気使用量の総量	H28年度実績より削減	○	① エコアクション部門	△
a102	灯油購入量の総量		×		
a103	LPG 購入量の総量		○		
a104	A 重油購入量の総量		○		
a105	可燃ごみ排出量		×		
b101	環境に関する研修開催回数	年1回以上	○	② エコマネジメント部門	○
c101	公開する環境情報の回数	年12回以上	○	③ エコガバナンス部門	○

※1 達成状況 : ○=達成 ×=未達成

※2 評価 : ○=良好 △=軽微だが改善すべき点あり ×=勧告に値すべき点あり

(監査項目に対する○の割合が80%以上なら○、60~80%なら△、60%未満なら×と評価)

5. 所見

総合所見

高島市未来へ誇れる環境づくり推進委員会会議において、平成29年度高島市環境マネジメントシステムの独自目標数値について、点検・評価を行いましたので、ここに報告いたします。

1. 独自目標につきましては、昨年度同様に職員の方々が省エネルギーの意識を高く持って取り組まれていると思われまます。a102 灯油および a105 燃やせるごみの項目は達成できておりませんが、a101 電気、a103 L P G、a104 A 重油および b101, c101 の項目は達成されています事をご報告いたします。
2. ごみ量の削減を含む、a101～105 の項目については、昨年度を上回るごみ量が排出されておりました。原因としては、庁舎移転に伴うごみの増大などが様々考えられます。前年度実績より削減となっていることを目標設定することが続いていたことから、一定の限界に達したということも考えられるものの、ここ数年微増が続いておりますので、改めて職員ひとりひとりがごみ削減の意識を持つことが必要になってくるかと思ひます。

(監査員総評)

独自目標の平成29年度の結果について点検、評価を行いました。

職員、職場の環境マネジメントの取り組みはすでに定着していると感じました。数値では表せない職員の職場での取り組み姿勢や努力を評価します。

目標に達していない項目がありますが、前年度実績より削減する目標が続いたことから、一定限界に達したものと考えられ、これ以上の目標数値の削減は、市民サービスの低下、ならびに職員のストレスにつながりかねないかと思われまます。

今後、ストレスとならない範囲で職員が高い意識を保てるように目標の値を見直す必要があると考えられまます。

また、事務活動での節電などの環境に配慮したソフト面での取り組みだけでなく、今津支所やマキノ支所の改修することにより、LED化など環境に配慮した設備を作るなどハード面での取り組みを進めているところは評価できます。

ごみ減量、再利用など市の職場では徹底されていますが、市民の削減意識が高いとは思えず、高島市の取り組み、環境マネジメントシステムを市民に広げていただきたいと思ひまます。

そういった中で、市では TES が市役所内部だけではなく市全体に広がるよう各部局の特色を活かした独自の目標を掲げ活動を平成27年度から取り組んでおられることは喜ばしいことと思ひまます。

この各部局の特色を活かした独自目標を全部局に広げ、着実に遂行し、今後の高島市全体に TES の活動が広がることを期待します。そして、企業や団体、市民が環境マネジメントを活用し、市と市民が協働で取り組んでいける体制の構築をしていくことができれば、さらなる成果があげられると考えられまます。